

5 TOPICS

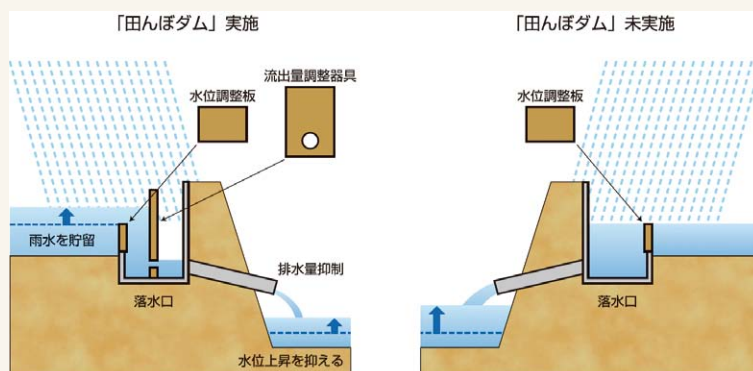
(1) ～「田んぼダム」の取組推進～

全国各地で豪雨災害が多発している中、河川流域全体のあらゆる関係者が協働して行う流域治水の取組が進められています。

県では、流域治水において、水田を活用した雨水の一時貯留の取組が重要な役割を担うものとして期待されていることから、「田んぼダム」を広くPRし普及に取り組んでいくこととしています。

〈「田んぼダム」とは〉

「田んぼダム」とは、水田の落水口に「流出量調整器具」を設置して大雨時に雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくりと下流に流すことで、排水路や河川の水位の上昇を抑え、実施地域やその下流域の洪水被害を防止・軽減させるものです。



資料：「田んぼダム」の手引き（農林水産省）を加工して作成

「田んぼダム取組マニュアル」

「田んぼダム」は水稻の生産に影響を与えない範囲で、農業者の協力により実施する取組です。農業者の皆さんに「田んぼダム」について正しく理解していただき、「田んぼダム」に取り組む際の参考となるよう「田んぼダム取組マニュアル」を作成しました。

マニュアルでは、「田んぼダム」の目的や効果、具体的な取組方法や導入に当たってのポイントを取りまとめました。

また、水稻の生産への影響はないのかといった農業者の不安を解消するため、営農への影響についても盛り込むとともに、地域全体で取り組むことで大きな効果を発揮することから合意形成についても記載しました。



掲載URL：青森県庁HP



<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/tannbodamutorikumimanyuaru.html>

(2) ～中山間地域におけるスマート農業導入を加速化～

本県の中山間地域は耕地面積、農業産出額で約4割を占めるなど、本県農業の重要な位置を占めています。一方、農業従事者の減少や高齢化が平地よりも進行し、担い手不足は深刻な状況です。また、中山間地域の水田耕地面積の約6割が30a未満で、分散していることから、用水管理などの農作業が複雑になっています。

このため、高齢化等による担い手不足などが深刻な中山間地域において、農作業の省力化や効率化に取り組むことで、集落での営農を継続できるように、小規模ほ場に対応したスマート農業の導入とそれに適した基盤整備手法を検討するとともに、地域の活性化に向けて情報通信環境の整備支援に取り組んでいます。

〈小規模ほ場に対応した基盤整備手法の検討〉

- 自動給水栓と田越し灌漑を組み合わせた棚田における水管理省力化の実証試験



【自動給水栓】

水管理の
省力効果を
検証



【田越し灌漑 (おおかわら 大川原地区 黒石市)】

- 水田法面や傾斜のある樹園地の法面における自動草刈機の走行試験



【ラジコン草刈機】

草刈りの
省力効果を
検証



【ロボット草刈機と太陽光パネル】

農業農村整備 DX推進事業 (R6～R8)